

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画等に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名： 広島市地域公共交通活性化協議会陸上交通分科会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ※全系統に係る収支率及び広島市の補助 額の目標については、欄外に記載	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者：(南)やぐちタクシー 運行系統：系統①	フレスタロ田南店前～コープ高 陽前・矢口駅～フレスタロ田南 店前(8.8km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	A 1便当たりの平均利用者数3.5 人という目標に対し、令和7年度 の実績は4.2人であり、目標が 達成された。 また、事業の効果として掲げ た、交通不便地域の高齢者等 の日常生活に必要な不可欠な移 動手段を確保することができ た。	引き続き、商業施設と連携し た割引制度を実施するなど、利 用促進に努める。
事業者：(南)やぐちタクシー 運行系統：系統②	フレスタロ田南店前～コープ高 陽前・矢口駅～上矢口上(10.0 km)				
事業者：(南)中野タクシー 運行系統：上平原線	上平原～JR安芸中野駅前～ 安芸市民病院(往路8.9km、復路 9.0km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	B 1回当たりの平均利用者数5.9 人という目標に対し、令和7年度 の実績は4.9人であり、目標は 達成されなかったものの、事業 の効果として掲げた、交通不便 地域の高齢者等の日常生活に 必要不可欠な移動手段を確保 することができた。	昨年ルート変更を行った際 に、改めて時刻表の周知を行っ たところであることから、その 後の利用状況を注視しつつ、引 き続き、商業施設と連携した割 引制度を実施するなど、利用促 進に努める。
事業者：(南)中野タクシー 運行系統：山王押手上線	山王桜台～JR安芸中野駅前 ～安芸市民病院(往路11.3km、 復路11.3km)				
事業者：(株)フォーブル 運行系統：大塚西	下城ハイツ上～大原駅・アシ ティ中央～下城ハイツ上 (13.6km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	A 1便当たりの平均利用者数3.8 人という目標に対し、令和7年度 の実績は4.4人であり、目標が 達成された。 また、事業の効果として掲げ た、交通不便地域の高齢者等 の日常生活に必要な不可欠な移 動手段を確保することができ た。	引き続き、利用状況を掲載し た広報誌による周知を行うな ど、利用促進に努める。
事業者：(南)カオル交通 運行系統：系統1	アルゾ前～DCMダイキ・河戸帆 待川駅前～アルゾ前(8.1km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	B 1便当たりの平均利用者数4.6 人という目標に対し、令和7年度 の実績は4.2人であり、目標は 達成されなかったものの、事業 の効果として掲げた、交通不便 地域の高齢者等の日常生活に 必要不可欠な移動手段を確保 することができた。	引き続き、フリーマーケットの 実施を通して乗合タクシーの周 知を行うことに加え、来年度か らバス停が乗合タクシーの乗降 場所の付近に移設され、乗継 の利便性が向上することから、 乗合タクシーの車中にバス停 移設のチラシを配架するなど、 利用促進に努める。
事業者：(株)カオル交通 運行系統：系統2	アルゾ前～DCMダイキ・河戸帆 待川駅前～アルゾ前(12.0km)				
事業者：つばめ交通(株) 運行系統：系統1	ユアーズ～福田停留所(上)～ ユアーズ(9.4km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	B 1便当たりの平均利用者数4.9 人という目標に対し、令和7年度 の実績は4.0人であり、目標は 達成されなかったものの、事業 の効果として掲げた、交通不便 地域の高齢者等の日常生活に 必要不可欠な移動手段を確保 することができた。	引き続き、商業施設や公民館 への時刻表の配架による周知 を行うことに加え、地域イベント 等への車両の展示を検討する など、利用促進に努める。
事業者：つばめ交通(株) 運行系統：系統2	ユアーズ～福田停留所(上)～ セブンイレブン(11.5km)				
事業者：(はと第一交通(株)) 運行系統：戸坂ともいきタク シー	戸坂地区(区域運行)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	B 1便当たりの平均利用者数3.0 人という目標に対し、令和7年度 の実績は2.8人であり、目標は 達成されなかったものの、事業 の効果として掲げた、交通不便 地域の高齢者等の日常生活に 必要不可欠な移動手段を確保 することができた。	引き続き、協賛企業等へのス テッカーの貼付による周知を行 うことに加え、乗降ポイントマ ップの見直しを行うなど、利用 促進に努める。
事業者：広島交通(株) 運行系統：今吉田フィー ダー(56010)	可部駅前～北部医療センター ～今吉田公民館(28.6km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	A 1回当たりの平均利用者数7.7 人という目標に対し、令和7年度 の実績は9.2人であり、目標が 達成された。 また、事業の効果として掲げ た、交通不便地域の高齢者等 の日常生活に必要な不可欠な移 動手段を確保することができ た。	引き続き、公民館や出張所へ の時刻表の配架による周知を 行うなど、利用促進に努める。
事業者：広島交通(株) 運行系統：今吉田フィー ダー(56020)	可部駅前～上大毛寺～今吉田 公民館(27.8km)				
事業者：朝日交通(株) 運行系統：阿戸線(501)	熊野営業所～熊野町役場～初 神～新宮～阿戸学校(9.8km)	地域の移動手段として定着す るよう、計画に基づいた適切な 運行を行うとともに、周知活動 を行うなど、利用促進を図っ た。	A 計画に位置付けられたとお り、事業は適切に実施され た。	B 1回当たりの平均利用者数6.4 人という目標に対し、令和7年度 の実績は5.9人であり、目標は 達成されなかったものの、事業 の効果として掲げた、交通不便 地域の高齢者等の日常生活に 必要不可欠な移動手段を確保 することができた。	地元自治会から意見のあった ダイヤの見直し等について事 業者と協議を進めるなど、利用 促進に努める。
事業者：朝日交通(株) 運行系統：阿戸線(502)	阿戸学校～新宮～初神～萩原 下～フジ熊野店(7.9km)				

【全系統に係る収支率及び広島市の補助額の目標】

収支率14.3%、広島市の補助額36,049千円という目標に対し、令和7年度の実績は収支率13.5%、広島市の補助額38,634千円(見込額)であり、目標は達成されなかった。

今後、各系統について、上述している利用促進策を行い、改善に努める。

【別添1-2】

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	広島市地域公共交通活性化協議会陸上交通分科会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>広島市は人口約120万人、面積約900km²で、市域内の主な公共交通として、JR山陽本線、呉線、可部線及び芸備線、広島電鉄宮島線及び市内線、新交通システム(アストラムライン)等の様々な鉄軌道系公共交通機関並びに約600系統の路線バスがある。</p> <p>平野部周辺の丘陵地等では、昭和40～50年代にかけて数多くの団地が開発され、こうした団地では住民の高齢化が進展し、免許返納等により交通手段を持たない高齢者等の移動困難な住民が増加している中、幹線交通や医療機関、商業施設等へアクセスする移動手段の確保が課題となっている。</p> <p>このため、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しながら、公共交通の維持確保を図っていくこととしている。</p>